

京都創生

KYOTO SOUSEI

第6号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。



【特集】“昨年から内容が更にパワーアップ!”

「京あるき in 東京 2012

～恋する京都ウィークス～」を開催



2週間にわたり東京で奥深い京都の魅力を発信

京都市、京都商工会議所、(社)京都市観光協会、京都創生推進フォーラムでは、平成24年2月16日から29日までの14日間、首都圏で、京都ゆかりの様々な催しを集中的に展開する「京あるき in 東京2012 ～恋する京都ウィークス～」を昨年に引き続き開催しました。

この取組は、情報発信の要である首都圏において「京都創生」をPRするとともに、「京都ファン」の更なる拡大に向けて開催するものです。

2月16日のオープニングイベントを皮切りに、京都ゆかりの134(昨年99)の企業や団体、大学等が、京都花灯路の再現や西陣織・京友禅などの伝統工芸品の展示、在京大使や留学生との交流イベント、観光キャンペーン、物産展、京都の大学による特別講座、協賛店での京都限定品の特別販売、スタンプラリー等の、76(昨年50)の催しを実施しました。各会場を訪れた多くの方に、東京にいなから京都の魅力を実感していただくことができました。



京都の魅力や未来について語るオープニングトーク(左から、司会・こばやしあきこさん、門川大作京都市長、女優・名取裕子さん、華道末生流笹岡家元・笹岡隆甫さん)



重要無形民俗文化財 嵯峨大念仏狂言「土蜘蛛」の披露(「京都ブランドフォーラム in 東京」にて)



各国駐日大使や外国人留学生を対象とした伝統文化と京料理による「おもてなし」(「京の匠と雅」)



“京もののある暮らし”をテーマに、京都の伝統工芸品の展示や体験等、多彩なプログラムを披露(「Kyoto Neo Traditional」)

結末を新たに取組を推進

今年は前回よりも多くの京都の企業や団体、大学に参画いただき、オール京都の体制で、多彩な京都の魅力を発信することができました。この取組を一過性のもとして終わらせることなく、今回結ばれた絆を大切にしながら、今後も首都圏をはじめ、全国の皆さんに「国家戦略としての京都創生」の取組を理解し、応援していただけるよう、京都を愛する皆様とともに取組を進めていきます。

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

「京都創生推進フォーラム連携支援事業」対象事業紹介

京都創生推進フォーラムでは、会員の皆様と連携し「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた取組を推進することを目的に、その趣旨に沿った事業を支援する「京都創生推進フォーラム連携支援事業」を実施しています。ここでは、平成23年度に対象として実施された事業をご紹介します。

事 業 紹 介

日中文化交流除夜の鐘テレビ中継&日中友好書画展

— 一日中交流における草の根レベルの文化交流事業 —

NPO法人文化芸術国際協会

◆開催日 日中友好書画展 平成23年12月20日(火)～23日(金)

◆場 所 京都文化博物館

日中文化交流除夜の鐘テレビ中継 平成23年12月31日(土)

◆場 所 相国寺

企画趣旨

草の根レベルの日中交流を深めるため、日中邦交40周年を迎える祝福行事として、NPO法人文化芸術国際協会、陝西テレビ局とが連携し、相国寺で日中友好著名人等による、除夜の鐘を鳴らし“福”を中国本土に届けるという行事を開催しました。さらに、臨済宗相国寺派有馬頼底管長、西安青龍寺寛旭住職等による祝福の“書”も披露されました。

また、京都文化博物館では“日中友好・書画大賞展”を開催するとともに、西安企業家団を京都に迎え、伝統産業、伝統工芸、町家などの見学等の民間外交を実践しました。



ひとこと

展示会では、日中名書画家から110枚余の作品を展示、西安企業家団にも、京都の伝統文化と伝統芸能を満喫してもらいました。西安と京都はご縁があり、温故知新、このような草の根レベルでの日中文化交流は極めて重要であると確信しています。

京都創生連続セミナー

京都創生推進フォーラムと京都市では、「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた市民の皆様の自主的な活動を推進するために、景観・文化・観光分野の専門家から、京都の魅力や素晴らしさ、課題などを聞き、京都への理解を深める、京都創生連続セミナーを開催しています。

第16回 京菓子のこころ ～都のくらしと伝統文化～

第16回セミナーでは、京の四季の「うつろいゆくさま」を表現したお菓子をを通して「おもてなしのこころ」について学ぶとともに、京都の生活文化のあり方について考えました。

開催日：平成23年11月12日(土) 会 場：キャンパスプラザ京都

講 師：山口 富藏 氏 (京菓子司末富主人)

○プロフィール

昭和12年京都市生まれ。昭和35年、関西学院大学経済学部卒業。東京銀座「松崎煎餅」にて、1年修行。その後父 竹次郎のもとにて家業に従事する。昭和45年春より、亀屋末富（明治26年創業）3代目を継承する。平成元年、株式会社「末富」社長。本店（下京区松原通室町東入）のほかに、京都・大阪・東京日本橋・新宿・横浜・名古屋の高島屋に出店。茶道各御家元の御用を務めると共に、各宗本山にも出入り、御用を務める。京都創生百人委員会委員。



■みやびな公家文化を継承

かつて輸入物の砂糖を使った甘いお菓子を食えることができたのは、お公家さん、神社仏閣の宮司や僧侶、そこに出入りする商人など富裕層の人たちでした。そのため、お菓子は色や形にいたるまで全て公家文化の影響を受けています。また、お菓子には格調高いブランド力が求められてきました。しかし最近では、贈答品として重宝されてきたお菓子もその価値が少なくなってきました。人々の暮らし方が変わり、お客さんをもてなす場所をしつらえ

た町家のような建物が、京都からどんどん減っていることも一因でしょう。京都のお菓子は都の長い歴史が凝縮された立派な文化であるのに、残念なことだと思います。

■想像力をかきたてる職人技

京都のお菓子の魅力は、名前である銘、色や形などから、様々なことを連想させてくれる豊かな仕掛けが施されていることです。季節の移ろいなどを感じさせてくれるのが、ほんまもの京都のお菓子です。

私たちは、季節を非常に大切にしており、『歳時記』や、『二十四節気』から銘や形を考案しています。また貴族社会で愛された江戸時代の画家、尾形光琳の影響を強く受けており、食べる人の想像力をかきたてる工夫を、そこかしこに散りばめることができるのが、京菓子職人の技です。

■もてなしの奥義を極めた京菓子

お菓子をさらに楽しむためには、せめて『百人一首』位は覚えなくても知っておいて欲しいものです。そうすることで、想像力がまた一つ広がることでしょう。

やはり、スイーツの世界との違いを理解していただかないと、面白さが少なくなってしまいます。京都のお菓子は、お客さまをもてなすための「こころ」が凝縮された食べ物です。是非、口で頂くだけではなく、五感で感じ、人間を取り巻く宇宙を想像して楽しんでみてください。

第17回 京町家・四季の暮らし

第17回セミナーでは、京町家での四季の暮らし、まつりの話を通して、これからの京都の暮らしの文化について考えました。

開催日：平成23年12月10日(土) 会場：京都芸術センター

講師：吉田孝次郎氏 ((財)祇園祭山鉾連合会理事長)



○プロフィール

昭和12年京都市生まれ。昭和19年明倫国民学校入学。昭和23年祇園祭囃子方となる。昭和36年武蔵野美術大学を卒業し、同大学造形学部助手に就任。昭和48年から京都芸術短期大学非常勤講師を10年務める。平成元年に京都生活工芸館無名舎を開設。平成17年から武蔵野美術大学参与を務め現在に至る。同年文化庁長官表彰受賞。(財)祇園祭山鉾連合会理事長、京都生活工芸館無名舎代表、NPO法人美しい京都理事長。京都創生百人委員会委員。

■京町家が醸し出す「こうと」な調和

私は、1200年間この地域で醸成されてきた心根や、気風、習慣等を、新しい世代に伝承したいと考えています。私たちの親の世代までは、心を統制する言葉に、「公道(こうと)」という言葉が存在しました。町家はよく「紅殻格子に虫籠窓」と言われますが、白木の格子に色付けをするのも、「こうと」に振る舞うことの現れです。どこかの家が突出するのではなく、何となく全体が調和を得て華やかさを演出する、そんな「こうと」な振る舞いが美しい町並みを形成していたのです。

■様々な工夫が凝らされた京町家

最近の本で、町家の「中庭」を坪庭と紹介しているものがありますが、「中庭」は、間接光を店と玄関に送る装置であると同時に、けだるい夏に奥庭と連動させて通風を確保するためのものです。冷感が得られる通風の良さが京町家の一番の自慢です。立派な機能持つ「中庭」は坪庭とは全く違うものなのです。

よく京都は「陰影礼賛」と言われますが、実際は、京都の人は光を求める気持ちが非常に強く、光を取り込むために、戸袋を90度壁際に押し込んで間接光を入れる装置が、江戸時代の半ばには出来上がっていました。家のなかでは、煮炊きなどの作業をする通り庭が一番明るい場所になっており、大人たちが疲れた体を休める場所が一番暗くなっています。光を上手に使い分けて生活するところが、非常に特徴的なところだと思います。

■「こうと」精神の復活を

かつて京都の人は、自分たちを美しく装うため「こうと」という言葉を大事にしていました。公の道ということをし、それぞれが感じ、大切にしていたのです。それは、他人から強要されたものではなく、あくまで自らを律する規範として大切にしていたのです。将来の京都を美しくしていくためには、この「こうと」という言葉の視点が非常に大事だと感じています。

※京都創生連続セミナーの詳細は、「京都創生推進フォーラム」のホームページにアクセスすればご覧いただくことができます。(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
八つ橋庵しゃなり	京の生菓子ねりきり細工体験。本格的な京菓子「ねりきり」3ヶづくり	開催中 3/31(土) 10:00~17:30	八つ橋庵しゃなり (京都市左京区南禅寺草川町69-1)	1,365円	要	八つ橋庵しゃなり (075-754-0611)
オリジナルの風呂敷バックでお花見に出かけよう	6種類の包み方を学んだ後にオリジナルの風呂敷を作ります。	開催中 3/31(土) ①10:00 ②14:00 (各回1時間程度)	京友禅体験工房丸益西村屋 (京都市中京区小川通御池下ル壺屋町457)	3,150円	要	丸益西村屋 (075-211-3273)
漬物教室	お漬物の普及の為、糠漬のつくり方をお教える漬物教室を開催。	開催中 12/15(火) 平日及び土曜日 (お盆期を除く) 10:00~11:00 14:00~15:00	(株)川勝總本家 (京都市下京区大宮通五条上ル上五条町394)	2,000円 (教室でつけた漬物は樽ごと持ってきてかえて頂ける。)	要	(株)川勝總本家 (075-841-0131)
京都市伝統産業技術功労者顕著記念作品展	平成23年度の京都市伝統産業技術功労者の作品を展示。	3/10(土) 3/20(火) 9:00~17:00	京都伝統産業ふれあい館 ギャラリー(京都市左京区岡崎成勝寺町9-1 京都市勤業館みやこめっせ地下1F)	無料	不要	京都市・京の伝統産業春秋会 (075-222-3337)
青蓮院 夜間特別拝観ライトアップ	境内をあますところなくライトアップ。苔庭の照明は幽玄な世界。	3/10(土) 3/20(火) 18:00~21:00 受付終了	青蓮院 (京都市東山区粟田口三条坊町69-1)	800円	不要	青蓮院 (075-561-2345)
祝 雛祭り 歌会・茶会・書華展	山茶花流書道華道茶道の研鑽発表を「雛祭」の新事に沿って催す。	3/11(日) 10:00~15:00	山茶花社・山茶花美術館 (京都市中京区車屋町通竹屋町下ル少将井御旅町352)	4,000円 (予約3,500円)	要	山茶花社 (075-211-4061)
佐々木光夫・能面展	舞台用専門能面師・佐々木光夫が未発表表面約40面を展示します。	3/14(水) 3/18(日) 10:00~18:00	京都文化博物館 (京都市中京区三条高倉)	無料	不要	佐々木光夫 (075-495-4390)
第18回 游墨展	会員による書画作品の展示。	3/20(火) 3/25(日) 9:00~17:00	京都市美術館 (京都市左京区岡崎公園内)	無料	要	京都書画院 (075-255-0054) (株)賛交社内
大徳寺黄梅院 春の特別公開	昨年修復が完了した書院自休軒や千利休作庭の直中庭などを公開。	3/22(木) 5/13(日) 10:00~16:00	大徳寺 黄梅院 (京都市北区紫野大徳寺町)	大人600円	不要	京都春秋事務局 (075-231-7015)
京都府出身2011年度卒業生による新人演奏会	器楽・声楽等によるクラシック音楽のコンサート	3/24(土) 18:00~21:00	京都府立府民ホール アルティ(京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1)	無料	不要	京都音楽家クラブ (075-822-9808)
桧垣バレエ団公演「椿姫」	ポーランド公演で絶賛された「椿姫」を京都市交響楽団による演奏でのバレエ公演。	3/29(木) 19:00~21:00	文化パルク城陽 (城陽市寺田今堀1)	前売り S席7,000円(指定) A席5,500円(自由) 当日500円アップ	要	(社)桧垣バレエ団 (0774-62-0588)
直指庵 春の特別公開	再興者である幕末勤皇家村岡局の遺品・加賀友禅の九条袈裟展示。	4/28(土)・29(日) 5/3(木)・4(金)・5(土) 10:00~16:00	直指庵内 修練道場 (京都市右京区北嵯峨北ノ段町3)	500円 (拝観料込)	不要	直指庵 (075-871-1880)

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」

発行日 平成24年3月7日

発行 京都創生推進フォーラム(事務局:公財)京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)